



五岳山最高峰の我拝師山

五岳の最高峰は弘法大師空海 最初の修行の地

五岳山の最高峰で標高481m。古くはわしのやま倭斯濃山と呼ばれていました。花こう岩の上ぎょうかいかくれきがんに凝灰角礫岩を挟んで讃岐岩質安山岩がのる、香川県でよく見られる孤立丘（ビュート）です。讃岐岩質安山岩こうがんそうの硬岩層300~400mにかけて険しい崖を形成し、特に南側の崖はしゃんがだけ捨身ヶ嶽と呼ばれ、幼い日の弘法大師空海が修行をした地として知られています。

伝説によれば、まお真魚と呼ばれていた7歳の空海は、我拝師山に登り「私は将来仏門に入



● 筆ノ山の西側。
出釋迦寺から山頂まで徒歩約60分。

り、仏の教えを広めて多くの人を救いたい。私の願いが叶うなら釈迦如来よ、姿を現したまえ。もし叶わぬのなら一命を捨ててこの身を諸仏に捧げる。」と、断崖絶壁から身を投じました。すると、釈迦如来と天女が舞い降り抱きとめたと伝わります。この時、空海がお釈迦様を拝んだことから、我拝師山と呼ばれるようになった。

この山の麓には出釋迦寺しゅつしゃかじがあり、山頂近くに奥の院禅定ぜんじょうがあります。山頂には、宇宙の真理を表し諸願成就の「大日如来だいにちにょらい」がまつられています。